

イメージで攻略
わかる! 受かる!! 日商簿記2級工業簿記 テキスト&問題集

2023年度版

解答用紙

本冊子には、以下の解答用紙が収録されています。

- ◇ テーマ別問題 解答用紙
- ◇ 本試験対策 模擬試験（工業簿記） 解答用紙



解答用紙は下記からもダウンロードすることができます。

<https://wakuuokuu.jp/boki/>

※ダウンロードデータを許可なく配布したりWebサイト等に転載したりすることはできません。
また、本データは予告なく終了することがあります。あらかじめご了承ください。

テーマ別問題

問題 1-1 原価計算の流れ

①	②	③

問題 2-1 材料費の分類

直接材料費 円

間接材料費 円

問題 2-2 材料費の処理

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				

問題 2-3 材料費の計算

(1) 先入先出法 円

(2) 平均法 円

問題 2-4 材料の棚卸減耗

借方科目	金額	貸方科目	金額

問題 2-5 予定消費単価を用いた場合

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				

問題 3-1 労務費の分類直接労務費 円間接労務費 円**問題 3-2** 労務費の処理①当月賃金消費額 円

問題 3-3 労務費の処理②

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				

問題 3-4 予定賃率を用いた場合

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				

問題 4-1 経費の分類

直接経費 円

間接経費 円

問題 4-2 経費の処理

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				

問題 5-1 個別原価計算と製造間接費の配賦

原 価 計 算 表

(単位：円)

費 目	No.11	No.12	No.13	合 計
前 月 繰 越				
直 接 材 料 費				
直 接 労 務 費				
製 造 間 接 費				
合 計				
備 考				-

仕 掛 品

前 月 繰 越	()	製 品	()
直 接 材 料 費	()	次 月 繰 越	()
直 接 労 務 費	()		
製 造 間 接 費	()		
	()		()

製 品

仕 掛 品	()	売 上 原 価	()
		次 月 繰 越	()
	()		()

問題 5-2 製造間接費の予定配賦

(1) 各製品への配賦額

No01 : 円

No02 : 円

(2)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				

(3)

製造間接費

間接材料費	()	予定配賦額	()
間接労務費	()	原価差異	()
間接経費	()		
	<u>()</u>		<u>()</u>

製造間接費配賦差異

原価差異	()
------	-----

問題 5-3 個別原価計算と製造間接費の予定配賦

仕 掛 品	
月 初 有 高 ()	当 月 完 成 ()
直 接 材 料 費 ()	月 末 有 高 ()
直 接 労 務 費 ()	
製 造 間 接 費 ()	
()	()

製 品	
月 初 有 高 ()	売 上 原 価 ()
当 月 完 成 ()	月 末 有 高 ()
()	()

問題 5-4 製造間接費の予定配賦

製造間接費配賦差異： 円（借方差異・貸方差異）

予 算 差 異： 円（借方差異・貸方差異）

操 業 度 差 異： 円（借方差異・貸方差異）

※ 借方差異または貸方差異を○で囲むこと

問題 5-5 個別原価計算

問1

仕 掛 品

9/1 月初有高	()	9/30 製 品	()
30 直接材料費	()	〃 月末有高	()
〃 直接労務費	()		
〃 製造間接費	()		
	()		()

問2

製造間接費配賦差異： 円（借方差異・貸方差異）

予 算 差 異： 円（借方差異・貸方差異）

操 業 度 差 異： 円（借方差異・貸方差異）

※ 借方差異または貸方差異を○で囲むこと

問題 6-1 直接配賦法

部 門 費 配 賦 表

（単位：円）

摘 要	合 計	製造部門		補助部門		
		第1製造部門	第2製造部門	動力部門	修繕部門	工場事務部門
部門個別費	390,600	131,820	187,500	38,500	22,280	10,500
部門共通費	64,400					
部 門 費	455,000					
工場事務部門費						
修繕部門費						
動力部門費						
製造部門費	455,000					

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
第1製造部門費	()	工場事務部門費	()
第2製造部門費	()	修繕部門費	()
		動力部門費	()

問題 6-2 相互配賦法

部 門 費 配 賦 表

(単位：円)

摘 要	合 計	製造部門		補助部門		
		第 1 製造 部 門	第 2 製造 部 門	倉庫部門	修繕部門	工場事務 部 門
部 門 費	765,000	258,960	252,440	108,000	86,400	59,200
第 1 次配賦						
工場事務部門費						
修繕部門費						
倉庫部門費						
第 2 次配賦						
工場事務部門費						
修繕部門費						
倉庫部門費						
製造部門費	765,000					

問題 6-3 製造部門費の製品への配賦

製造部門別の配賦率

第 1 製造部門： 円/時間 第 2 製造部門： 円/時間

各製造指図書に配賦された製造部門費

No101： 円 No102： 円

借方科目	金 額	貸方科目	金 額

問題 6-4 製造部門費の予定配賦

製造部門別の予定配賦

借方科目	金額	貸方科目	金額

配賦差異の計上

借方科目	金額	貸方科目	金額

問題 6-5 部門別個別原価計算

問 1

予算部門別配賦表

(単位：円)

摘 要	合 計	製造部門		補助部門		
		第 1 製造部門	第 2 製造部門	修繕部門	材料倉庫部門	工場事務部門
部門費	5,472,000	2,588,000	1,944,000	360,000	280,000	300,000
修繕部門費	360,000					
材料倉庫部門費	280,000					
工場事務部門費	300,000					
製造部門費	5,472,000					

第 1 製造部門の予定配賦率： 円/時間

第 2 製造部門の予定配賦率： 円/時間

問 2

製造間接費（第 1 製造部門）

実際発生額	()	予定配賦額	()
配賦差異	()	配賦差異	()
	()		()

※ 配賦差異は借方または貸方のみに記入すること

問題 7-1 単純総合原価計算(月初仕掛品なし)

完成品総合原価： 円

完成品単位原価： 円/個

月末仕掛品原価： 円

問題 7-2 単純総合原価計算(先入先出法)

総合原価計算表

(単位：円)

	直接材料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	11,700	5,950	17,650
当月製造費用	52,500	52,170	104,670
合計	64,200	58,120	122,320
月末仕掛品原価			
完成品総合原価			
完成品単位原価	円/個	円/個	円/個

問題 7-3 単純総合原価計算(平均法)

仕掛品

月初有高：		当月完成高：	
原料費	12,800	原料費	()
加工費	7,340	加工費	()
当月製造費用：		月末有高：	
原料費	72,600	原料費	()
加工費	53,560	加工費	()
	()		()

問題 8-1 工程別総合原価計算

第 1 工程月末仕掛品の原料費： 円

第 1 工程月末仕掛品の加工費： 円

第 2 工程月末仕掛品の前工程費： 円

第 2 工程月末仕掛品の加工費： 円

第 2 工程完成品総合原価： 円

問題 8-2 等級別総合原価計算

月 末 仕 掛 品 原 価： 円

完 成 品 総 合 原 価： 円

製品Xの完成品単位原価： 円/個

製品Yの完成品単位原価： 円/個

問題 8-3 組別総合原価計算

問1 加工費の予定配賦率 円/時間

問2

組別総合原価計算表

(単位：円)

	A組製品		B組製品	
	原料費	加工費	原料費	加工費
月初仕掛品原価	32,300	9,760	23,800	16,420
当月製造費用	105,000	()	97,200	()
合計	()	()	()	()
月末仕掛品原価	()	()	()	()
完成品総合原価	()	()	()	()

問3 A組製品の完成品単位原価： 円/kg

B組製品の完成品単位原価： 円/kg

問題 9-1 仕損・減損の処理①

問1 完成品総合原価： 円

完成品単位原価： 円/個

月末仕掛品原価： 円

問2 完成品総合原価： 円

完成品単位原価： 円/個

月末仕掛品原価： 円

問題 9-2 仕損・減損の処理②

- 問1 完成品総合原価： 円
- 完成品単位原価： 円/個
- 月末仕掛品原価： 円
- 問2 完成品総合原価： 円
- 完成品単位原価： 円/個
- 月末仕掛品原価： 円

問題 9-3 仕損・減損の処理③

- 問1 完成品総合原価： 円
- 完成品単位原価： 円/個
- 月末仕掛品原価： 円
- 問2 完成品総合原価： 円
- 完成品単位原価： 円/個
- 月末仕掛品原価： 円

問題 9-4 材料の追加投入

完成品総合原価： 円

完成品単位原価： 円/個

月末仕掛品原価： 円

問題 9-5 単純総合原価計算 + 仕損の処理 + 材料の追加投入

月末仕掛品のA原料費 = 円

月末仕掛品のB原料費 = 円

月末仕掛品の加工費 = 円

完成品総合原価 = 円

完成品単位原価 = 円/個

問題 10-1 工業簿記における財務諸表①

	製造原価報告書		(単位：円)
材 料 費			
主要材料費	()		
補助材料費	()	()	
労 務 費			
直接工賃金	()		
間接工賃金	()		
給 料	()	()	
経 費			
電 力 料	()		
賃 借 料	()		
減価償却費	()	()	
合 計		()	
製造間接費配賦差異		[] ()	
当期総製造費用		()	
期首仕掛品棚卸高		()	
合 計		()	
期末仕掛品棚卸高		()	
当期製品製造原価		()	

※ [] 内は借方差異ならば「-」を、貸方差異ならば「+」を記入すること

問題 10-2 工業簿記における財務諸表②

製造原価報告書

(単位：円)

I. 直接材料費		
期首材料棚卸高	()	
当期材料仕入高	()	
合計	()	
期末材料棚卸高	()	()
II. 直接労務費		()
III. 製造間接費		
間接材料費	()	
間接労務費	()	
間接経費	()	()
合計		()
製造間接費配賦差異	[]	()
当期総製造費用		()
期首仕掛品棚卸高		()
合計		()
期末仕掛品棚卸高		()
当期製品製造原価		()

※ [] 内は加算するならば「+」を、減算するならば「-」を記入すること

損益計算書

(単位：円)

I. 売上高		850,000
II. 売上原価		
期首製品棚卸高	()	
当期製品製造原価	()	
合計	()	
期末製品棚卸高	()	
差引	()	
原価差異	[]	()
売上総利益		()
III. 販売費及び一般管理費		()
営業利益		()

※ [] 内は加算するならば「+」を、減算するならば「-」を記入すること

問題 10-3 工業簿記における財務諸表③

製造間接費

間接労務費	()	仕掛品	()
間接経費	()	原価差異	()
原価差異	()		
	()		()

※ 原価差異は借方または貸方のいずれかに記入すること

仕掛品

期首有高	()	当期完成高	()
直接材料費	()	期末有高	()
直接労務費	()		
製造間接費	()		
	()		()

損益計算書

(単位：円)

I. 売上高		4,050,000
II. 売上原価		
期首製品棚卸高	()	
当期製品製造原価	()	
合計	()	
期末製品棚卸高	()	
差引	()	
原価差異	[] ()	()
売上総利益		()
III. 販売費及び一般管理費		
販売費	()	
一般管理費	()	()
営業利益		()

※ [] 内は加算するならば「+」を、減算するならば「-」を記入すること

問題 11-1 本社工場会計①

		借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	本社				
	工場				
(2)	本社				
	工場				
(3)	本社				
	工場				
(4)	本社				
	工場				
(5)	本社				
	工場				
(6)	本社				
	工場				
(7)	本社				
	工場				

問題 11-2 本社工場会計②

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

問題 12-1 パーシャル・プランとシングル・プラン

(A) パーシャル・プランの場合

仕 掛 品			
直接材料費	()	製 品	()
直接労務費	()	月 末 有 高	()
製造間接費	()	原 価 差 異	()
原 価 差 異	()		
	()		()
製 品			
月 初 有 高	()	売 上 原 価	()
仕 掛 品	()	月 末 有 高	()
	()		()

(B) シングル・プランの場合

仕 掛 品			
直接材料費	()	製 品	()
直接労務費	()	月 末 有 高	()
製造間接費	()	原 価 差 異	()
原 価 差 異	()		
	()		()
製 品			
月 初 有 高	()	売 上 原 価	()
仕 掛 品	()	月 末 有 高	()
	()		()

※ 金額が記入されない項目については空欄のままにすること

問題 12-2 標準原価計算の勘定記入

仕 掛 品			
月 初 有 高	()	完 成 高	()
直 接 材 料 費	()	月 末 有 高	()
加 工 費	()	原 価 差 異	()
	()		()

月次損益計算書 (一部)

(単位：円)

I. 売 上 高		()
II. 売 上 原 価		
月初製品棚卸高	()	
当月製品製造原価	()	
合 計	()	
月末製品棚卸高	()	
差 引	()	
原 価 差 異	()	()
売 上 総 利 益		()
III. 販売費及び一般管理費		()
営 業 利 益		()

問題 13-1 直接材料費差異の分析

直接材料費差異（総差異）： 円（借方差異・貸方差異）

価格差異： 円（借方差異・貸方差異）

数量差異： 円（借方差異・貸方差異）

※ 借方差異または貸方差異を○で囲むこと

問題 13-2 直接労務費差異の分析

直接労務費差異（総差異）： 円（借方差異・貸方差異）

賃率差異： 円（借方差異・貸方差異）

時間差異： 円（借方差異・貸方差異）

※ 借方差異または貸方差異を○で囲むこと

問題 13-3 製造間接費差異の分析

問 1

製造間接費差異（総差異）： 円（借方差異・貸方差異）

予 算 差 異： 円（借方差異・貸方差異）

操 業 度 差 異： 円（借方差異・貸方差異）

能 率 差 異： 円（借方差異・貸方差異）

※ 借方差異または貸方差異を○で囲むこと

問 2

製造間接費差異（総差異）： 円（借方差異・貸方差異）

予 算 差 異： 円（借方差異・貸方差異）

操 業 度 差 異： 円（借方差異・貸方差異）

能 率 差 異： 円（借方差異・貸方差異）

※ 借方差異または貸方差異を○で囲むこと

問題 13-4 標準原価計算の差異分析

問1 当月の完成品標準原価： 円

問2 原価差異の総額： 円（借方差異・貸方差異）

問3 直接材料費差異： 円（借方差異・貸方差異）

 価格差異： 円（借方差異・貸方差異）

 数量差異： 円（借方差異・貸方差異）

問4 作業時間差異： 円（借方差異・貸方差異）

問5 予算差異： 円（借方差異・貸方差異）

 操業度差異： 円（借方差異・貸方差異）

※ 借方差異または貸方差異を○で囲むこと

問題 14-1 直接原価計算の損益計算書

直接原価計算による損益計算書		(単位：円)
I. 売上高		()
II. 変動売上原価		()
[]		()
III. 変動販売費		()
[]		()
IV. 固定費		
1. 固定製造原価	()	
2. 固定販売費及び一般管理費	()	()
[]		()

問題 14-2 全部原価計算と直接原価計算の損益計算書

(A) 全部原価計算による損益計算書

	損益計算書		(単位：円)
	第1期	第2期	
売上高	()	()	
売上原価	()	()	
売上総利益	()	()	
販売費・一般管理費	()	()	
営業利益	()	()	

(B) 直接原価計算による損益計算書

	損益計算書		(単位：円)
	第1期	第2期	
売上高	()	()	
変動売上原価	()	()	
変動製造マージン	()	()	
変動販売費	()	()	
貢献利益	()	()	
固定費	()	()	
営業利益	()	()	

問題 14-3 CVP分析①

問1 貢献利益率： %

問2 売上高： 円

問3 販売数量： 個

問4 売上高： 円

問5 安全余裕率： %

経営レバレッジ係数：

問題 14-4 CVP分析②

問1 貢献利益率： %

問2 売上高： 円

問3 売上高： 円

問題 14-5 高低点法

製品1個あたりの変動費： 円/個

月間固定製造原価： 円

第4問 (配点28点)

(1)

	借 方		貸 方	
	記 号	金 額	記 号	金 額
1	()		()	
	()		()	
	()		()	
2	()		()	
	()		()	
	()		()	
3	()		()	
	()		()	
	()		()	

(2)

第1工程月末仕掛品原価： 円

第2工程月末仕掛品の前工程費： 円

第2工程月末仕掛品の加工費： 円

第2工程完成品総合原価： 円

第5問 (配点12点)

問1

直接原価計算による損益計算書		(単位：円)
売上高		()
変動売上原価		()
変動製造マージン		()
変動販売費		()
貢献利益		()
固定費		
固定製造原価	()	
固定販売費及び一般管理費	()	()
営業利益		()

問2 円

問3 円

問4 円